

チェックシート (施設別)					
■用途					
参考資料: ①美しい国土づくりガイドライン ②道路デザイン 道路デザイン指針 (案) とその解説					
項目	配慮事項	業種段階	具体的に検討すべき重要事項	参考資料	
①道路計画	配慮内容	構想段階	設計		
	配慮内容	構想段階	設計		
配慮事項	配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○路線の選定に当たっては、良好な景観を損わないよう、その地域の地形、土壌の耐崩壊係数、②当該景観との調和を期す。良好な景観の保全に努める。 ②-1-1 (P.40)
	配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●山腹地における検討 ○地形の変容を抑えよう地形を尊重した開削を検討する。 ②-1-2 (P.54~56)
	配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地形の変容を抑えよう場合は、可能な範囲で、改良した敷地の活用等を検討する。 ②-1-3 (P.54~56)
	配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の内訳表欄-地域の景観要素を取り締むよう検討する。 ②-1-4 (P.54~56)
	配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●瓦葺い瓦葺地における検討 ○瓦葺に広がるおびやかな地形的特徴を引き出すための文化的価値をもちきり地蔵の景観要素を継承させることを検討する。 ②-2-1 (P.57~58)
	配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○景観の質素となる道路の出現を抑えるよう検討する。 ②-2-2 (P.57~58)
	配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●水田における検討 ○道路の線形を工夫して水田の保全・活用を検討する。 ②-3 (P.59)
	配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●田舎地帯における検討 ○地味景観を効果的に認識できるように検討する。 ②-4 (P.60)
配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○田舎地帯の景観要素を保全するよう検討する。 ②-4 (P.60)	
配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●耕作地帯における検討 ○耕作後の田舎風景等による景観の変化に留意して、田舎景観の景観的価値を維持する空間構造を構築する。 ②-5 (P.61)	
配慮事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○田舎地帯の特性に加え、市街地の道路ネットワークにおける当該道路の役割を踏まえた検討を行う。 ②-5 (P.61~62)	
配慮内容	【備考】				
配慮結果	<input type="checkbox"/> チェックつけた配慮事項は、全て配慮することができた <input type="checkbox"/> チェックつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある → 下欄に理由を記入 理由:				

(3) チェックシート (共通/施設別)

作成目的:

事業の各段階で配慮が必要な事項 (配慮事項) を抽出し、配慮事項に沿って取組み、配慮事項と、各段階で実際に配慮した内容 (配慮内容) を次段階へ引き継ぎます。

作成段階:

- ・構想段階、設計段階

配慮検討シート	
<p>【地域の景観特性の把握が必要な範囲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックシート (共通/施設別) で、「具体的に検討すべき重要事項」にチェックした配慮事項がある場合、チェックをした配慮事項について、以下の検討を記入すること。 ・本シートは、チェックをした配慮事項1つにつき、1枚作成すること。 ・複数のチェックをした場合は、複数枚を作成すること。 	
<p>【対象地域】</p> <p>河川 <input type="checkbox"/> 河川</p>	<p>農事農産物</p> <p>産業 <input type="checkbox"/> 観光地帯 <input type="checkbox"/> 設計段階</p>
<p>【配慮事項】</p> <p><チェックシートの配慮事項を記入する></p>	<p>【配慮内容】</p> <p>配慮 <各段階で配慮した配慮内容を記入する (報告書や委員会議事録、設計図の写し等の添付でも可能) > 内容</p> <p>【設計】</p>
<p>【配慮結果】</p> <p>配慮 <input type="checkbox"/> 実施することができた <input type="checkbox"/> 実施できなかった → 下欄に理由を記入 理由</p>	

(4) 配慮検討シート

作成目的:

事業のなかでも、具体的に検討すべき重要事項について、各段階で実際に配慮した内容 (配慮内容) を次段階へ引き継ぎます。

作成段階:

- ・構想段階 (※)、設計段階 (※)

※「(3) チェックシート (共通/施設別)」を作成中に、具体的に検討すべき重要事項があれば、その事項に配慮した段階で、重要事項の数だけ作成します。

景観アドバイザー会議対応状況表			
景観アドバイザーからの指導・助言内容	事業段階		対応状況
	構想段階	設計段階	

(5) 景観アドバイザー会議対応状況表

作成目的:

○景観アドバイザー会議において、景観アドバイザーからの指導・助言に対応するため、その内容と対応状況を、次段階へ引き継ぎます。

作成段階:

- ・構想段階、設計段階

4 自己点検チェックシートの作成方法

各シートの記入例と作成手順を示します。

1 基礎情報シートの作成方法

- 事業の初期段階で把握する必要がある情報を整理します。
- 構想段階、設計段階で、1枚ずつ作成します。
- 設計段階では、構想段階の記述と内容が異なる箇所・変更が生じた箇所を新たに記入し、他の箇所は、構想段階で作成したシートを参照して、同じ内容を記入します。

構 想 段 階

基礎情報シート	
記入日	平成 25 年 10 月 1 日
機関名	〇〇土木事務所
課・担当者	道路整備課 [連絡先 tel 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇]
■事業概要	
事業名	〇〇〇〇事業
委託名	〇〇〇〇委託
事業段階	<input checked="" type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 設計段階
発注年度	平成 25 年度
契約番号	〇〇
事業箇所	〇〇〇村 〇〇地先 〇〇線
事業期間	平成 25 年 8 月 ~ 平成 27 年 5 月
事業目的	道路建築 土1,000
委託業者名	(株)〇〇〇〇社
■地域の景観に係る法規制等の状況	
景観計画区域	<input type="checkbox"/> 区域外 <input type="checkbox"/> 区域内（景観形成の重点区域・推進地区） <input type="checkbox"/> 区域内（景観形成の重点区域・推進地区 以外の区域）
景観形成方針	<input type="checkbox"/> 確認した
景観重要公共施設	<input type="checkbox"/> 景観重要公共施設に指定済み <input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 方針等の記載がある <input type="checkbox"/> 景観重要公共施設の指定に向けて調整中
景観協定	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある（事業区域内） <input type="checkbox"/> ある（隣接） [指定名称（ある場合に記入）]
景観重要建造物	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある（事業区域内） <input type="checkbox"/> ある（隣接） [指定名称（ある場合に記入）]
景観重要樹木	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある（事業区域内） <input type="checkbox"/> ある（近傍） [指定名称（ある場合に記入）]
景観法第16条の通知手続き	<input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要（届出対象行為） [対象施設（必要な場合に記入）]
その他	<input type="checkbox"/> 景観に関する市町村自主条例がある。（景観法に基づかないもの） [自由記入欄]

1-①

事業の「事業概要」を記入します。

基礎情報シート

記入日	平成 25 年 10 月 1 日
機関名	〇〇土木事務所
課・担当名	道路整備課 [連絡先 tel 〇〇〇(〇〇)〇〇〇]

■事業概要

事業名	〇〇〇〇事業
委託名	〇〇〇〇委託
事業段階	<input checked="" type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 設計段階
発注年度	平成 25 年度
契約番号	〇〇
事業箇所	〇〇〇村 〇〇地先 〇〇線
事業期間	平成 25 年 8 月 ~ 平成 27 年 5 月
事業目的	道路建築 L=1,000
委託業者名	(株) 〇〇〇〇社

■地域の景観に係る法規制等の状況

景観計画区域	<input type="checkbox"/> 区域外 <input type="checkbox"/> 区域内(景観形成の重点区域・推進地区) <input checked="" type="checkbox"/> 区域内(景観形成の重点区域・推進地区 以外の区域)
景観形成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 確認した
景観重要公共施設	<input type="checkbox"/> 景観重要公共施設に指定済み <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 方針等の記載がある <input type="checkbox"/> 景観重要公共施設の指定に向けて調整中
景観協定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(事業区域内) <input type="checkbox"/> ある(隣接) [指定名称(ある場合に記入)]
景観重要建築物	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(事業区域内) <input checked="" type="checkbox"/> ある(隣接) [指定名称(ある場合に記入)]
景観重要樹木	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(事業区域内) <input type="checkbox"/> ある(近傍) [指定名称(ある場合に記入)]
景観法第16条の通知手続き	<input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要(届出対象行為) [対象施設(必要な場合に記入)] <input checked="" type="checkbox"/> 擁壁
その他	<input type="checkbox"/> 景観に関する市町村自主条例がある。(景観法に基づかないもの) [自由記入欄]

1-②
地域の景観に係る法規制等の状況について記入します。

・各項目の該当するチェックボックスにチェックを入れ、内容を記入します。

設計段階

基礎情報シート

記入日	平成 27 年 9 月 20 日
機関名	〇〇土木事務所
課・担当名	道路整備課 [連絡先 tel 〇〇〇(〇〇)〇〇〇]

■事業概要

事業名	〇〇〇〇事業
委託名	〇〇〇〇委託
事業段階	<input type="checkbox"/> 構想段階 <input checked="" type="checkbox"/> 設計段階
発注年度	平成 27 年度
契約番号	〇〇
事業箇所	〇〇〇村 〇〇地先 〇〇線
事業期間	平成 27 年 7 月 ~ 平成 29 年 10 月
事業目的	道路建築 L=1,000
委託業者名	(株) 〇〇建設

■地域の景観に係る法規制等の状況

景観計画区域	<input type="checkbox"/> 区域外 <input type="checkbox"/> 区域内(景観形成の重点区域・推進地区) <input checked="" type="checkbox"/> 区域内(景観形成の重点区域・推進地区 以外の区域)
景観形成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 確認した
景観重要公共施設	<input type="checkbox"/> 景観重要公共施設に指定済み <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 方針等の記載がある <input type="checkbox"/> 景観重要公共施設の指定に向けて調整中
景観協定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(事業区域内) <input type="checkbox"/> ある(隣接) [指定名称(ある場合に記入)]
景観重要建築物	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(事業区域内) <input checked="" type="checkbox"/> ある(隣接) [指定名称(ある場合に記入)]
景観重要樹木	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(事業区域内) <input type="checkbox"/> ある(近傍) [指定名称(ある場合に記入)]
景観法第16条の通知手続き	<input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要(届出対象行為) [対象施設(必要な場合に記入)] <input checked="" type="checkbox"/> 擁壁
その他	<input type="checkbox"/> 景観に関する市町村自主条例がある。(景観法に基づかないもの) [自由記入欄]

新しいシートを作成

※設計段階では、設計段階の事業担当者が改めて、新しいシートを作成します。

1-③
構想段階の記述と内容が異なる箇所・変更が生じた箇所がある場合、新しい情報を記入します。

1-④
構想段階と記述内容が変わらない箇所は、構想段階で作成したシートを参照して、同じ内容を記入します。

2 景観形成に関する基本事項チェックシートの作成方法

- 事業の初期段階において、当該事業が実施される地域の景観特性を確認し、次段階へ引き継ぐとともに、景観形成のために配慮が必要な基本的な事項を確認し、当該事業で配慮が必要な事項を抽出します。
- 構想段階、設計段階で作成します。

構 想 段 階

景観形成に関する基本事項チェックシート

【地域の景観特性の把握に必要な範囲】

- ・対象施設の近傍にある集落や市街地、神社、森林など、主要な景観要素が一体となって構成している地域とする。
- ・例えば、「水田とその周辺で農業を営む農家住宅」や「湖と湖畔に建ち並ぶ旅館や民宿が形成する温泉街」など、地域の人々が日常的に利用している場所や地域の人々に古くから親しまれてきたものに着目して、範囲を決定する必要がある。
- ・また、上記のような範囲の外にも、遠方にある山岳など重要な場所が存在する場合は、その地点についても把握対象とする。

■地域の景観特性

確認結果	●計画地域の歴史・文化や、施設の生い立ちを調べる。(既往文献・ヒヤリング等)
<input checked="" type="checkbox"/>	計画地域の歴史・文化の概要を把握する。 [把握情報例] 地域の由来や信仰、祭礼、民俗、産業の変遷、地名の由来など
<input checked="" type="checkbox"/>	把握した情報 山間集落の変遷、○○山への信仰 施設の生い立ちを把握する。 [把握情報例] 施設整備の背景、利用形態の変遷、風景の変遷など
<input checked="" type="checkbox"/>	把握した情報 ○○工事誌 P.○○参照
	●地域の景観資源を確認する
<input checked="" type="checkbox"/>	川・湖沼・山・樹木など自然系の景観資源が近傍にある。 確認した景観資源 ○○山○○川、○○の巨木、特徴的な植生(○○植生図参照)
<input checked="" type="checkbox"/>	○門前町・寺社・地蔵尊・道祖神などの景観資源が近傍にある。 確認した景観資源 ○○神社、○○の碑
<input type="checkbox"/>	○観光施設・観光スポットが近傍にある。 確認した景観資源
<input type="checkbox"/>	○その他に確認した地域の景観特性がある。 その他の景観資源
	●主要な視点を確認する。(公共眺望ポイント)
<input checked="" type="checkbox"/>	確認した視点場 ○○神社 (○○山への眺め)

■配慮事項

参考資料：①美しい景土づくりガイドライン

項目	確認欄	配慮事項	参考資料
配慮事項	<input type="checkbox"/>	○確認した自然や歴史・文化など地域固有の文脈を活かす。 ・地形、動植物、歴史、文化等の特性・地域的景観資源を把握した上で、これらの保全や活用を検討するとともに、公共施設がその地域に馴染むよう検討する。	①-5-3 P. 58
	<input type="checkbox"/>	○確認した視点場からの眺望景観へ配慮する。 ・主要な視点場からの景観を阻害しないよう規模・配置・色彩等を工夫する。 ・整備する公共施設が良好な視点場となる場合は、整備・活用を検討する。 (視点場整備のチェックシートは公園・緑地・視点場による)	①-5-3 P. 58
	<input type="checkbox"/>	○構造物の素材や色彩などに配慮する。 ・その地域に代表される材質や色彩などを見極めながら周辺景観に馴染むデザインの検討を行う。 ・照明、サイン、防護柵などの施設について周辺景観に調和したデザインとなるよう検討する。	①-5-3 P. 59
	<input type="checkbox"/>	○誰もが使いやすい安全性や快適性を確保する。 ・誰にでも使いやすいユニバーサルデザインに配慮する。	①-5-3 P. 59
	<input type="checkbox"/>	○経年変化により味わいのある景観をつくる。 ・時の変化につれ趣を徐々に変えていくことを考慮して素材やデザインの工夫を行う	①-5-3 P. 59
配慮内容			
配慮結果	<input type="checkbox"/>	チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた	
理由	<input type="checkbox"/>	チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入	

2-①

地域の景観特性を把握し、その結果を記入します。

- ・計画地域の歴史・文化、施設の生い立ち、地域の景観資源、主要な視点場について確認し、確認した項目については、チェックボックスにチェックをつけます。
- ・確認した情報は、その具体的な名称などを記入します。



景観形成に関する基本事項チェックシート

【地域の景観特性の把握が必要な範囲】

- 対象施設の近接にある集落や市街地、神社、森林など、主要な景観要素が一体となって構成している地域とする。
- 例えば、「水田とその周辺で農業を営む農家住宅」や「湖と湖畔に建ち並ぶ旅館や民宿が形成する温泉街」など、地域の人々が日常的に利用している場所や地域の人々に古くから親しまれてきたものに着目して、範囲を決定する必要がある。
- また、上記のような範囲の外にも、遠方にある山岳など重要な場所が存在する場合は、その地点についても把握対象とする。

■地域の景観特性

確認結果

●計画地域の歴史・文化や、施設の生い立ちを調べる。(既往文献・ヒヤリング等)

計画地域の歴史・文化の概要を把握する。
 [把握情報例] 地域の伝承や信仰、祭礼、民俗、産業の変遷、地名の由来など

把握した情報 山間集落の変遷、 山への信仰

施設の生い立ちを把握する。
 [把握情報例] 施設整備の背景、利用形態の変遷、風景の変遷など

把握した情報 工事誌 P. 参照

●地域の景観資源を確認する。

川・湖沼・山・樹木など自然系の景観資源が近接にある。
 確認した景観資源 山 川、 の巨木、特徴的な植生 (国土院参照)

門前町・寺社・地蔵尊・道祖神などの景観資源が近接にある。
 確認した景観資源 神社、 の碑

観光施設・観光スポットが近接にある。
 確認した景観資源

その他に確認した地域の景観特性がある。
 その他の景観資源

●主要な視点を確認する。(公共眺望ポイント)

確認した視点場 神社 (山への眺め)

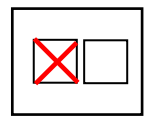
■配慮事項

参考資料：①美しい飛土づくりガイドライン

項目	確認欄	配慮事項	参考資料
配慮事項	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○確認した自然や歴史・文化など地域固有の文脈を活かす。 ・地形、動植物、歴史、文化等の特性・地域的景観資源を把握した上で、これらの保全や活用を検討するとともに、公共施設がその地域に馴染むよう検討する。	①-5-3 P. 58
	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○確認した視点場からの眺望景観へ配慮する。 ・主要な視点場からの景観を阻害しないよう規模・配置・色彩等を工夫する。 ・整備する公共施設が良好な視点場となる場合は、整備・活用を検討する。 (視点場整備のチェックシートは公園・緑地・視点場による)	①-5-3 P. 58
	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○建造物の素材や色彩などに配慮する。 ・その地域に代表される材質や色彩などを見極めながら周辺景観に馴染むデザインの検討を行う。 ・照明、サイン、防護柵などの施設について周辺景観に調和したデザインとなるよう検討する。	①-5-3 P. 59
	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○誰もが使いやすい安全性や快適性を確保する。 ・誰にでも使いやすいユニバーサルデザインに配慮する。	①-5-3 P. 59
	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○経年変化により味わいのある景観をつくる。 ・時の変化につれ趣を徐々に変えていくことを考慮して素材やデザインの工夫を行う	①-5-3 P. 59
	配慮内容		
配慮結果	<input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた		
	<input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入		
理由			

2-②
 構想段階の初期において、当該事業で、景観形成に関する基本事項について、配慮が必要な事項を確認します

・当該事業で配慮が必要な配慮事項には、左のチェックボックスにチェックをつけます。



・各配慮事項は、参考資料に、詳細が示されています。チェックをつけた事項は必ず、参考資料を確認します。



景観形成に関する基本事項チェックシート

【地域の景観特性の把握が必要な範囲】

- 対象施設の近傍にある集落や市街地、神社、森林など、主要な景観要素が一体となって構成している地域とする。
- 例えば、「水田とその周辺で農業を営む農家住宅」や「湖と湖畔に建ち並ぶ旅館や民宿が形成する温泉街」など、地域の人々が日常的に利用している場所や地域の人々に古くから親しまれてきたものに着目して、範囲を決定する必要がある。
- また、上記のような範囲の外にも、遠方にある山岳など重要な場所が存在する場合は、その地点についても把握対象とする。

■地域の景観特性

確認結果	<ul style="list-style-type: none"> ●計画地域の歴史・文化や、施設の生い立ちを調べる。(既往文献・ヒヤリング等) <ul style="list-style-type: none"> ○計画地域の歴史・文化の概要を把握する。 【把握情報例】地域の伝承や信仰、祭礼、民俗、産業の変遷、地名の由来など 把握した情報 山間集落の変遷、○○山への信仰 施設の生い立ちを把握する。 【把握情報例】施設整備の背景、利用形態の変遷、風景の変遷など 把握した情報 ○○工事誌P.○○参照
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の景観資源を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ○川・湖沼・山・樹木など自然系の景観資源が近傍にある。 確認した景観資源 ○○山○○川、○○の巨木、特徴的な植生(○○植生図参照) ○門前町・寺社・地蔵尊・道祖神などの景観資源が近傍にある。 確認した景観資源 ○○神社、○○の碑 ○観光施設・観光スポットが近傍にある。 確認した景観資源 ○その他に確認した地域の景観特性がある。 その他の景観資源 ●主要な視点場を確認する。(公共施設ポイント) <ul style="list-style-type: none"> 確認した視点場 ○○神社(○○山への眺め)

■配慮事項

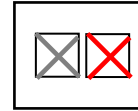
参考資料：①美しい県土づくりガイドライン

項目	確認欄	配慮事項	参考資料
配慮事項	<input checked="" type="checkbox"/>	○確認した自然や歴史・文化など地域固有の文脈を活かす。 ・地形、動植物、歴史、文化等の特性・地域的景観資源を把握した上で、これらの保全や活用を検討するとともに、公共施設がその地域に馴染むよう検討する。	①-5-3 P.58
	<input checked="" type="checkbox"/>	○確認した視点場からの眺望景観へ配慮する。 ・主要な視点場からの景観を阻害しないよう規模・配置・色彩等を工夫する。 ・整備する公共施設が良好な視点場となる場合は、整備・活用を検討する。 (視点場整備のチェックシートは公園・緑地・視点場による)	①-5-3 P.58
	<input checked="" type="checkbox"/>	○建造物の素材や色彩などに配慮する。 ・その地域に代表される材質や色彩などを見極めながら周辺景観に馴染むデザインの検討を行う。	①-5-3 P.59
	<input checked="" type="checkbox"/>	・照明、サイン、防護柵などの施設について周辺景観に調和したデザインとなるよう検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	○誰もが使いやすい安全性や快適性を確保する。 ・誰にでも使いやすいユニバーサルデザインに配慮する。	①-5-3 P.59
	<input checked="" type="checkbox"/>	○経年変化により残っている景観をつくる。 ・時の変化につれ趣を徐々に変えていくことを考慮して素材やデザインの工夫を行う	①-5-3 P.59
	配慮内容	<ul style="list-style-type: none"> ・○○の巨木、特徴的な植生などの自然資源の活用 ・○○山への眺望の確保 	
配慮結果	<input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた <input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入		
理由			

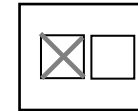
2-③

設計段階終了時に、事業を通して、配慮することができた事項を確認します

・「3-①」でチェックをつけた配慮事項について、配慮ができた項目には、右のチェックボックスにチェックをつけます。



▲ 配慮できた場合



▲ 配慮できなかった場合

2-④

配慮することができた事項を、具体的にどのように配慮したかを記入します

・「2-③」でチェックをつけた、「配慮できた事項」について、具体的にどのよう

に配慮したか、「配慮内容」欄に、記入します。

※「2-③」で、複数の配慮事項にチェックをつけた場合には、それらをまとめて記入してください。



景観形成に関する基本事項チェックシート

【地域の景観特性の把握が必要な範囲】

- 対象施設の近隣にある集落や市街地、神社、森林など、主要な景観要素が一体となって構成している地域とする。
- 例えば、「水田とその周辺で農業を営む農家住宅」や「湖と湖畔に建ち並ぶ旅館や民宿が形成する温泉街」など、地域の人々が日常的に利用している場所や地域の人々に古くから親しまれてきたものに着目して、範囲を決定する必要がある。
- また、上記のような範囲の外にも、遠方にある山岳など重要な場所が存在する場合は、その地点についても把握対象とする。

■地域の景観特性

●計画地域の歴史・文化や、施設の生い立ちを調べる。(既往文献・ヒヤリング等)

確認結果

計画地域の歴史・文化の概要を把握する。
 [把握情報例] 地域の伝承や信仰、祭礼、民俗、産業の変遷、地名の由来など
 把握した情報 山間集落の変遷、○○山への信仰

施設の生い立ちを把握する。
 [把握情報例] 施設整備の背景、利用形態の変遷、風景の変遷など
 把握した情報 ○○工事誌 P.○○参照

●地域の景観資源を確認する。

川・湖沼・山・樹木など自然系の景観資源が近傍にある。
 確認した景観資源 ○○山○○川、○○の巨木、特徴的な植生(○○植生図参照)

門前町・寺社・地蔵等、道祖神などの景観資源が近傍にある。
 確認した景観資源 ○○神社、○○の碑

観光施設・観光スポットが近傍にある。
 確認した景観資源

その他に確認した地域の景観特性がある。
 その他の景観資源

●主要な視点を確認する。(公共眺望ポイント)

確認した視点場 ○○神社(○○山への眺め)

■配慮事項

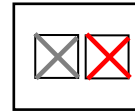
参考資料：①美しい県土づくりガイドライン

項目	確認欄	配慮事項	参考資料
配慮事項	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 確認した自然や歴史・文化など地域固有の文脈を活かす。 ・地形、動植物、歴史、文化等の特性・地域的景観資源を把握した上で、これらの保全や活用を検討するとともに、公共施設がその地域に馴染むよう検討する。	①-5-3 P.58
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 確認した視点場からの眺望景観へ配慮する。 ・主要な視点場からの景観を阻害しないよう規模・配置・色彩等を工夫する。 ・整備する公共施設が良好な視点場となる場合は、整備・活用を検討する。 (視点場整備のチェックシートは公園・緑地・視点場による)	①-5-3 P.58
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 構造物の素材や色彩などに配慮する。 ・その地域に代表される材質や色彩などを見極めながら周辺景観に馴染むデザインの検討を行う。 ・照明、サイン、防護柵などの施設について周辺景観に調和したデザインとなるよう検討する。	①-5-3 P.59
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 誰もが使いやすい安全性や快適性を確保する。 ・誰にでも使いやすいユニバーサルデザインに配慮する。	①-5-3 P.59
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 経年変化により味わいのある景観をつくる。 ・時の変化につれ趣を徐々に変えていくことを考慮して素材やデザインの工夫を行う	①-5-3 P.59
	配慮内容		・○○の巨木、特徴的な植生などの自然資源の活用 ・○○山への眺望の確保
配慮結果		<input checked="" type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた <input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入	
理由			

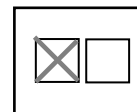
2-④

構想段階の初期に確認した、当該事業で配慮が必要な事項に配慮できたか、結果を記入します。

・「2-②」でチェックした「当該事業で配慮が必要な事項」を全て配慮できた場合、「チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた」にチェックします。
(一番左にチェックがある項目は全て、右のチェックボックスにチェックがある状態：下図参照)



・「2-②」でチェックした「当該事業で配慮が必要な事項」の内、事業を通して、配慮することができなかった事項がある場合、「チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある」にチェックし、その理由を記入します。
(一番左にチェックがある項目のうち、右側のチェックボックスにもチェックがない状態：下図参照)



3 チェックシート（共通／施設別）の作成方法

- 事業の各段階で配慮が必要な事項（配慮事項）を抽出し、配慮事項に沿って取組み、配慮事項と、各段階で実際に配慮した内容（配慮内容）を次段階へ引き継ぎます。
- 構想段階、設計段階で作成します。
- 事業内容に関わらず全ての事業において「チェックシート（共通）」を作成します。
- 事業内容に応じて、該当する「チェックシート（施設別）」を作成します。

※下記の記入手順では、記入例として、「チェックシート（施設別）」の「**■ 道路**」を示していますが、**チェックシート（施設別）」の道路以外の施設、あるいは「チェックシート（共通）」も記入手順は同じです。**

構 想 段 階

チェックシート（施設別）							
■道路							
参考資料：①美しい国土づくりガイドライン ②道路のデザイン 道路デザイン指針（案）とその解説							
項目	配慮事項 配慮内容	事業段階		具体的に 検討すべき 重要事項	参考資料		
		構想段階	設計段階				
①路 種 の 選 定	○路線の選定に当たっては、良好な景観を損なわないよう、その地域の地形、土地の利用形態及び沿道景観との調和を図り、良好な景観の保全に努める。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①-5-5-(1) P. 63		
		▶山間地における検討					
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地形改変を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する。	②-3-1 P. 54～56
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地形改変を伴う場合は、可能な範囲で、改変した箇所を自然復元を検討する。	②-3-1 P. 54～56
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の内部景観へ地域の景観資源を取り組むよう検討する。	②-3-1 P. 54～56
		▶丘陵・高原地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道に広がるのびやかな地形の魅力を引き出すため二次元的に見て得るから美しい道路線形を連続させることを検討する。	②-3-2 P. 57～58
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○景観の阻害となる法面の出現を抑えるよう検討する。	②-3-2 P. 57～58
		▶水辺における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の線形を工夫して水景の保全・活用を検討する。	②-3-3 P. 59
		▶田園地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地域景観を効果的に認識できるよう検討する。	②-3-4 P. 60
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○田園地域の景観秩序を保全するよう検討する。	②-3-4 P. 60		
▶都市近郊における検討							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○整備後の沿道開発等による景観の変化に留意して、沿道施設の景観的影響を緩和する空間構造を考慮する。	②-3-5 P. 61		
▶市街地における検討							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道地域の特性に加え、市街地の道路ネットワークにおける当該道路の役割を踏まえた検討を行う。	②-3-5 P. 62～65		
配慮内容 〔構想〕 〔設計〕							
配慮結果 <input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた <input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入 理由							

3-①

構想段階の初期において、当該事業で配慮が必要な事項を確認します

- ・当該事業で配慮が必要な配慮事項には、左のチェックボックスにチェックをつけます。

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
-------------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

- ・各配慮事項は、参考資料に、詳細が示されています。チェックをつけた事項は必ず、参考資料を確認します。

チェックシート（施設別）

■道路

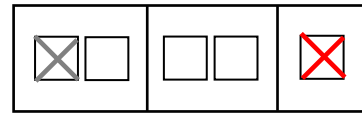
参考資料：①美しい県土づくりガイドライン
②道路のデザイン 道路デザイン指針（案）とその解説

項目	配慮事項 配慮内容	事業段階		具体的に 検討すべき 重要事項	参考資料		
		構想段階	設計段階				
① 路線の選定		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○路線の選定に当たっては、良好な景観を損なわないよう、その地域の地形、土地利用形態及び沿道景観との調和を図り、良好な景観の保全に努める。	①-5-5-(1) P.63	
		◆山間地における検討					
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○地形変化を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する。	②-3-1 P.54~56	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地形変化を伴う場合は、可能な範囲で、変更した箇所の自然復元を検討する。	②-3-1 P.54~56	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の内部景観へ地域の景観資源を取り組むよう検討する。	②-3-1 P.54~56	
		◆丘陵・高原地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道に広がるのびやかな地形的特徴を引き出すため3次元的に見て滑らかで美しい道路線形を連続させることを検討する。	②-3-2 P.57~58	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○景観の阻害となる法面の出現を抑えるよう検討する。	②-3-2 P.57~58	
		◆水辺における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の線形を工夫して水景の保全・活用を検討する。	②-3-3 P.59	
		◆田園地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地域景観を効果的に認識できるよう検討する。	②-3-4 P.60	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○田園地域の景観秩序を保全するよう検討する。	②-3-4 P.60	
◆都市近郊における検討							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○整備後の沿道開発等による景観の変化に留意して、沿道施設の景観的影響を緩和する空間構造を考慮する。	②-3-5 P.61			
◆市街地における検討							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道地域の特性に加え、市街地の道路ネットワークにおける当該道路の役割を踏まえた検討を行う。	②-3-5 P.62~65			
配慮内容							
[構想]							
[設計]							
<input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた <input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入							
配慮結果							
理由							

3-②

構想段階の初期において、当該事業で、具体的に検討すべき重要事項を検討します

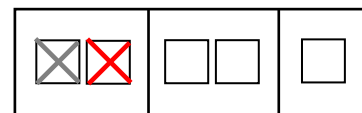
- ・当該事業において重要な配慮事項と考える事項については、具体的に検討すべき配慮事項に該当する事項に、チェックをつけます。



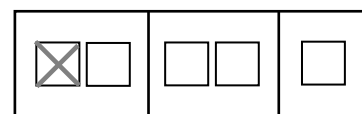
3-③

構想段階終了時に、構想段階において、配慮を終えた事項、設計段階に引き継ぐ事項を確認します

- ・「3-①」でチェックをつけた配慮事項について、構想段階において、配慮を終えた項目には、右のチェックボックスにチェックをつけます。



▲ 構想段階で配慮を終えた場合



▲ 設計段階に配慮を引き継ぐ場合

チェックシート（施設別）

■道路

参考資料：①美しい県土づくりガイドライン
②道路のデザイン 道路デザイン指針（案）とその解説

項目	配慮事項 配慮内容	事業段階		具体的に 検討すべき 重要事項	参考資料		
		構想段階	設計段階				
① 路線の選定		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○路線の選定に当たっては、良好な景観を損なわないよう、その地域の地形、土地利用形態及び沿道景観との調和を図り、良好な景観の保全に努める。	①-5-5-(1) P.63	
		◆山間地における検討					
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○地形変化を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する。	②-3-1 P.54~56	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地形変化を伴う場合は、可能な範囲で、変更した箇所の自然復元を検討する。	②-3-1 P.54~56	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の内部景観へ地域の景観資源を取り組むよう検討する。	②-3-1 P.54~56	
		◆丘陵・高原地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道に広がるのびやかな地形的特徴を引き出すため3次元的に見て滑らかで美しい道路線形を連続させることを検討する。	②-3-2 P.57~58	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○景観の阻害となる法面の出現を抑えるよう検討する。	②-3-2 P.57~58	
		◆水辺における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の線形を工夫して水景の保全・活用を検討する。	②-3-3 P.59	
		◆田園地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地域景観を効果的に認識できるよう検討する。	②-3-4 P.60	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○田園地域の景観秩序を保全するよう検討する。	②-3-4 P.60	
◆都市近郊における検討							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○整備後の沿道開発等による景観の変化に留意して、沿道施設の景観的影響を緩和する空間構造を考慮する。	②-3-5 P.61			
◆市街地における検討							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道地域の特性に加え、市街地の道路ネットワークにおける当該道路の役割を踏まえた検討を行う。	②-3-5 P.62~65			
配慮内容							
[構想]							
[設計]							
<input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた <input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入							
配慮結果							
理由							

設計段階

チェックシート（施設別）

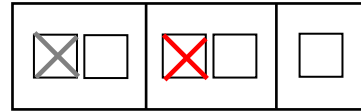
■道路
 参考資料：①美しい県土づくりガイドライン
 ②道路のデザイン 道路デザイン指針（案）とその解説

項目	配慮事項 配慮内容	事業段階		具体的に 検討すべき 重要事項	参考資料		
		構想段階	設計段階				
① 路線の選定	配慮事項	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○路線の選定に当たっては、良好な景観を損なわないよう、その地域の地形、土地利用形態及び沿道景観との調和を図り、良好な景観の保全に努める。	①-5-5-(1) P.63	
		◆山間地における検討					
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○地形変化を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する。	②-3-1 P.54～56
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地形変化を伴う場合は、可能な範囲で、変更した箇所を自然復元を検討する。	②-3-1 P.54～56
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の内部景観へ地域の景観資源を取り組むよう検討する。	②-3-1 P.54～56
		◆丘陵・高原地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道に広がるのびやかな地形的特徴を引き出すため3次元的に見て滑らかで美しい道路線形を連続させることを検討する。	②-3-2 P.57～58
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○景観の阻害となる法面の出現を抑えるよう検討する。	②-3-2 P.57～58
		◆水辺における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の線形を工夫して水景の保全・活用を検討する。	②-3-3 P.59
		◆田園地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地域景観を効果的に認識できるよう検討する。	②-3-4 P.60
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○田園地域の景観秩序を保全するよう検討する。	②-3-4 P.60
		◆都市近郊における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○整備後の沿道開発等による景観の変化に留意して、沿道施設の景観的影響を緩和する空間構造を考慮する。	②-3-5 P.61
		◆市街地における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道地域の特性に加え、市街地の道路ネットワークにおける当該道路の役割を踏まえた検討を行う。	②-3-5 P.62～65
配慮内容							
[構想] 景観に配慮したのり面、A地点～B地点での、河川敷から道路への眺めの配慮 [設計]							
配慮結果							
<input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた							
<input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入							
理由							

3-⑥

設計段階の初期において、設計段階で配慮すべき配慮事項を確認します

- ・「3-③」でチェックがつかなかった（構想段階では配慮を終えていない）項目を、設計段階で配慮するため、左の箱にチェックをつけます。



- ▲ 「3-③」でチェックがつかなかった項目を設計段階で配慮する

- ・各配慮事項は、参考資料に、詳細が示されています。チェックをつけた事項は必ず、参考資料を確認します。

チェックシート（施設別）

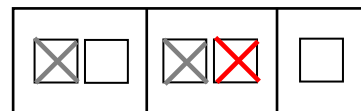
■道路
 参考資料：①美しい県土づくりガイドライン
 ②道路のデザイン 道路デザイン指針（案）とその解説

項目	配慮事項 配慮内容	事業段階		具体的に 検討すべき 重要事項	参考資料		
		構想段階	設計段階				
① 路線の選定	配慮事項	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○路線の選定に当たっては、良好な景観を損なわないよう、その地域の地形、土地利用形態及び沿道景観との調和を図り、良好な景観の保全に努める。	①-5-5-(1) P.63	
		◆山間地における検討					
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○地形変化を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する。	②-3-1 P.54～56
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地形変化を伴う場合は、可能な範囲で、変更した箇所を自然復元を検討する。	②-3-1 P.54～56
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の内部景観へ地域の景観資源を取り組むよう検討する。	②-3-1 P.54～56
		◆丘陵・高原地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道に広がるのびやかな地形的特徴を引き出すため3次元的に見て滑らかで美しい道路線形を連続させることを検討する。	②-3-2 P.57～58
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○景観の阻害となる法面の出現を抑えるよう検討する。	②-3-2 P.57～58
		◆水辺における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の線形を工夫して水景の保全・活用を検討する。	②-3-3 P.59
		◆田園地域における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地域景観を効果的に認識できるよう検討する。	②-3-4 P.60
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○田園地域の景観秩序を保全するよう検討する。	②-3-4 P.60
		◆都市近郊における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○整備後の沿道開発等による景観の変化に留意して、沿道施設の景観的影響を緩和する空間構造を考慮する。	②-3-5 P.61
		◆市街地における検討					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道地域の特性に加え、市街地の道路ネットワークにおける当該道路の役割を踏まえた検討を行う。	②-3-5 P.62～65
配慮内容							
[構想] 景観に配慮したのり面、A地点～B地点での、河川敷から道路への眺めの配慮 [設計]							
配慮結果							
<input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた							
<input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入							
理由							

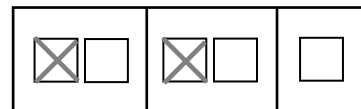
3-⑦

設計段階終了時に、設計段階において、配慮することができた事項を確認します

- ・「3-⑥」でチェックをつけた配慮事項について、設計段階において、配慮ができた項目には、右のチェックボックスにチェックをつけます。



- ▲ 配慮できた場合



- ▲ 配慮できなかった場合

チェックシート（施設別）

■道路

参考資料：①美しい風土づくりガイドライン
②道路のデザイン 道路デザイン指針（案）とその解説

項目	配慮事項 配慮内容	事業段階		具体的に 検討すべき 重要事項	参考資料	
		構想段階	設計段階			
① 路線の 選定	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ○路線の選定に当たっては、良好な景観を損なわないよう、その地域の地形、土地の利用形態及び沿道景観との調和を図り、良好な景観の保全に努める。 ①-5-5-(1) P.63	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		◆山間地における検討				
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地形変化を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する。 ②-3-1 P.54～56
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地形変化を伴う場合は、可能な範囲で、改変した箇所の自然復元を検討する。 ②-3-1 P.54～56
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の内部景観へ地域の景観資源を取り組むよう検討する。 ②-3-1 P.54～56
		◆丘陵・高原地域における検討				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道に広がるのびやかな地形的特徴を引き出すため3次元的に見て清らかで美しい道路線形を連続させることを検討する。 ②-3-2 P.57～58
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○景観の障害となる法面の出現を抑えるよう検討する。 ②-3-2 P.57～58
		◆水辺における検討				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○道路の線形を工夫して水景の保全・活用を検討する。 ②-3-3 P.59
		◆田園地域における検討				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地域景観を効果的に認識できるよう検討する。 ②-3-4 P.60
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○田園地域の景観秩序を保全するよう検討する。 ②-3-4 P.60
		◆都市近郊における検討				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○整備後の沿道開発等による景観の変化に留意して、沿道施設の景観的影響を緩和する空間構造を考慮する。 ②-3-5 P.61		
◆市街地における検討						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○沿道地域の特性に加え、市街地の道路ネットワークにおける当該道路の役割を踏まえた検討を行う。 ②-3-6 P.62～65		
配慮内容	【構想】 景観に配慮したのり面、A地点～B地点での、河川敷から道路への続めの配慮 【設計】 のり面への緑化、A地点～B地点での、道路敷地内の緑化					
配慮結果	<input checked="" type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた <input type="checkbox"/> チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある ⇒ 下欄に理由を記入 理由					

3-⑩

構想段階の初期に確認した、当該事業で配慮が必要な事項に配慮できたか、結果を記入します。

・「3-①」でチェックした「当該事業で配慮が必要な事項」を全て、構想段階あるいは設計段階で配慮した場合、「チェックをつけた配慮事項は、全て配慮することができた」にチェックします。

（一番左にチェックがある項目は全て、構想段階・設計段階どちらかで、右のチェックボックスにチェックがある状態：下図参照）

<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
-------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------

・「3-①」でチェックした「当該事業で配慮が必要な事項」の内、事業を通して、配慮することができなかった事項がある場合、「チェックをつけた配慮事項のうち、配慮できていないものがある」にチェックし、その理由を記入します。

（一番左にチェックがある項目のうち、構想段階・設計段階どちらの右側のチェックボックスにもチェックがない状態：下図参照）

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------	--------------------------

4 配慮検討シートの作成方法

- 事業のなかでも、具体的に検討すべき重要事項について、各段階で実際に配慮した内容（配慮内容）を次段階へ引き継ぎます。
- 「(3) チェックシート（共通/施設別）」を作成中に、具体的に検討すべき重要事項があれば、重要事項の数だけ作成します。
- 1つの事項につき、本シート1枚を作成してください。複数ある場合は、複数枚を作成してください。

構 想 段 階

※「3-5」の段階

- ・「3-2」で「具体的に検討すべき重要事項」にチェックをつけた場合、構想段階でどのように配慮したか、本シートに記入します。
- ・構想段階で配慮できた「具体的に検討すべき重要事項」が、複数ある場合、その数だけ、シートを作成します。

配慮検討シート	
【地域の景観特性の把握が必要な範囲】 ・チェックシート（共通/施設別）で、「具体的に検討すべき重要事項」にチェックをした配慮事項がある場合、チェックをした配慮事項について、以下の項目を記入すること。 ・本シートは、チェックをした配慮事項1つにつき、1枚作成すること。 ・複数のチェックをした場合、複数枚を作成すること。	
■対象施設 対象施設 <input type="checkbox"/> 共通 <input checked="" type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 橋梁 <input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 砂防 公園・緑地・視点場 <input type="checkbox"/> 建築	
■事業段階 事業段階 <input checked="" type="checkbox"/> 構想 <input type="checkbox"/> 設計段階	
■配慮事項 配慮事項 <チェックシートの配慮事項を記入する> 地形変化を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する	
■配慮内容 配慮内容 <各段階で配慮した配慮内容を記入する（報告書や委員会議事録、設計図の写し等の添付でも可能）> 【構想】 C地点～D地点の線形を地形に沿わせ、貫入部分は橋梁構造とする（第2回〇〇委員会資料-3を参照） 【設計】	
■配慮結果 配慮結果 <input type="checkbox"/> 配慮することができた <input type="checkbox"/> 配慮できなかった ⇒ 下欄に理由を記入 理由	

4-①

基礎情報を記入します。

- ・対象施設にチェックをつけます。
- ・構想段階の左のチェックボックスにチェックをつけます。
- ・チェックシートに示されている配慮事項を記入します。

4-②

構想段階で、具体的に検討すべき重要事項を、どのように配慮したか、配慮検討シートに記入します。

- ・「配慮内容【構想】」欄に、記入します。
- ※配慮した結果が分かる報告書や委員会等の議事録などの添付でも可能です。
その場合には、「〇〇報告書 P.〇〇参照」など、その旨が分かるように記入してください。

配慮検討シート

【地域の景観特性の把握が必要な範囲】
 ・チェックシート（共通／施設別）で、「具体的に検討すべき重要事項」にチェックをした配慮事項がある場合、チェックをした配慮事項について、以下の項目を記入すること。
 ・本シートは、チェックをした配慮事項1つにつき、1枚作成すること。
 ・複数のチェックをした場合、複数枚を作成すること。

■対象施設
 対象施設 共通 道路 橋梁 河川 砂防 公園・緑地・視点場 建築

■事業段階
 事業段階 構想段階 設計段階

■配慮事項
 配慮事項 <チェックシートの配慮事項を記入する>
 地形変化を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する

■配慮内容
 配慮内容 <各段階で配慮した配慮内容を記入する（報告書や委員会議事録、設計図の写し等の添付でも可能）>
 【構想】
 C地点～D地点の線形を地形に沿わせ、貫入部分は橋梁構造とする（第2回〇〇委員会資料-3を参照）
 【設計】
 〇〇設計図を参照

■配慮結果
 配慮結果 配慮することができた 配慮できなかった ⇒ 下欄に理由を記入
 【理由】

4-③

設計段階へ引き継ぐ事項を確認します。

- ・構想段階で配慮事項について配慮を終えた場合、構想段階の右のチェックボックスにチェックをつけます。

構想段階

▲ 構想段階で配慮を終えた場合

構想段階

▲ 設計段階に配慮を引き継ぐ場合

※「具体的に検討すべき重要事項」が複数ある場合、
複数枚、シートを作成してください。

新しいシートを作成

- ・4-①～4-③の作成手順にのっとり、同様に作成してください。

配慮検討シート

【地域の景観特性の把握が必要な範囲】
 ・チェックシート（共通／施設別）で、「具体的に検討すべき重要事項」にチェックをした配慮事項がある場合、チェックをした配慮事項について、以下の項目を記入すること。
 ・本シートは、チェックをした配慮事項1つにつき、1枚作成すること。
 ・複数のチェックをした場合、複数枚を作成すること。

■対象施設
 対象施設 共通 道路 橋梁 河川 砂防 公園・緑地・視点場 建築

■事業段階
 事業段階 構想段階 設計段階

■配慮事項
 配慮事項 <チェックシートの配慮事項を記入する>
 地形変化を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する

■配慮内容
 配慮内容 <各段階で配慮した配慮内容を記入する（報告書や委員会議事録、設計図の写し等の添付でも可能）>
 【構想】
 【設計】

■配慮結果
 配慮結果 配慮することができた 配慮できなかった ⇒ 下欄に理由を記入
 【理由】

設計段階

※「3-⑨」の段階

- 「3-②」で「具体的に検討すべき重要事項」にチェックをつけた場合、設計段階でどのように配慮したか、本シートに記入します。
- 「具体的に検討すべき重要事項」が、複数ある場合、その数だけ、シートを作成します。

配慮検討シート

【地域の景観特性の把握が必要な範囲】

・チェックシート（共通／施設別）で、「具体的に検討すべき重要事項」にチェックをした配慮事項がある場合、チェックをした配慮事項について、以下の項目を記入すること。

・本シートは、チェックをした配慮事項1つにつき、1枚作成すること。

・複数のチェックをした場合、複数枚を作成すること。

■対象施設

対象施設 共通 道路 橋梁 河川 砂防 公園・緑地・視点場 建築

■事業段階

事業段階 構想段階 設計段階

■配慮事項

＜チェックシートの配慮事項を記入する＞

配慮事項 地形改変を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する

■配慮内容

＜各段階で配慮した配慮内容を記入する（報告書や委員会議事録、設計図の写し等の添付でも可能）＞

配慮内容 (構想)

○地点→B地点の線形を地形に合わせ、貫入部分は橋梁構造とする（第2回○○委員会資料-3を参照）

[設計]

○設計図を参照

■配慮結果

配慮結果 配慮することができた 配慮できなかった ⇒ 下欄に理由を記入

理由

4-④

基礎情報を記入します。

- 「4-③」でチェックがつかなかった（構想段階では配慮を終えていない）項目を、設計段階で配慮するため、左の箱にチェックをつけます。

構想段階 設計段階

4-⑤

設計段階で、具体的に検討すべき重要事項を、どのように配慮したか、配慮検討シートに記入します。

- 「配慮内容 [設計]」欄に、記入します。
- ※配慮した結果が分かる報告書や委員会等の議事録などの添付でも可能です。
- その場合には、「○○報告書 P.○○参照」など、その旨が分かるように記入してください。

配慮検討シート

【地域の景観特性の把握が必要な範囲】

・チェックシート（共通／施設別）で、「具体的に検討すべき重要事項」にチェックをした配慮事項がある場合、チェックをした配慮事項について、以下の項目を記入すること。

・本シートは、チェックをした配慮事項1つにつき、1枚作成すること。

・複数のチェックをした場合、複数枚を作成すること。

■対象施設

対象施設 共通 道路 橋梁 河川 砂防 公園・緑地・視点場 建築

■事業段階

事業段階 構想段階 設計段階

■配慮事項

＜チェックシートの配慮事項を記入する＞

配慮事項 地形改変を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する

■配慮内容

＜各段階で配慮した配慮内容を記入する（報告書や委員会議事録、設計図の写し等の添付でも可能）＞

配慮内容 (構想)

○地点→B地点の線形を地形に合わせ、貫入部分は橋梁構造とする（第2回○○委員会資料-3を参照）

[設計]

○設計図を参照

■配慮結果

配慮結果 配慮することができた 配慮できなかった ⇒ 下欄に理由を記入

理由

4-⑥

設計段階終了時に、設計段階において、配慮することができたかを確認します

- 「4-④」でチェックをつけた配慮事項について、設計段階において、配慮ができた項目には、右のチェックボックスにチェックをつけます。

構想段階 設計段階

配慮検討シート

【地域の景観特性の把握が必要な範囲】
 ・チェックシート（共通/施設別）で、「具体的に検討すべき重要事項」にチェックをした配慮事項がある場合、チェックをした配慮事項について、以下の項目を記入すること。
 ・本シートは、チェックをした配慮事項1つにつき、1枚作成すること。
 ・複数のチェックをした場合、複数枚を作成すること。

■対象施設
 対象施設 共通 道路 橋梁 河川 砂防 公園・緑地・視点場 建蔽

■事業段階
 事業段階 構想段階 設計段階

■配慮事項
 配慮事項 <チェックシートの配慮事項を記入する>
 地形変化を極力抑えるよう地形を尊重した線形を検討する

■配慮内容
 配慮内容 <各段階で配慮した配慮内容を記入する（報告書や委員会議事録、設計図の写し等の添付でも可能）>
 【構想】
 C地点～D地点の線形を地形に沿わせ、貫入部分は橋梁構造とする（第2回〇〇委員会資料-3を参照）
 【設計】
 〇〇設計図を参照

■配慮結果
 配慮結果 配慮することができた 配慮できなかった ⇒ 下欄に理由を記入
 【理由】

4-⑦

配慮結果を記入します。

- ・ 配慮できた場合、「配慮することができた」にチェックをつけます。
- ・ 構想段階・設計段階ともに配慮できなかった場合、「配慮できなかった」にチェックをつけ、その理由を記入します。

※「具体的に検討すべき重要事項」が複数ある場合、複数枚、シートを作成してください。

新しいシートを作成

- ・ 4-④～4-⑦の作成手順にのっとり、同様に作成してください。

配慮検討シート

【地域の景観特性の把握が必要な範囲】
 ・チェックシート（共通/施設別）で、「具体的に検討すべき重要事項」にチェックをした配慮事項がある場合、チェックをした配慮事項について、以下の項目を記入すること。
 ・本シートは、チェックをした配慮事項1つにつき、1枚作成すること。
 ・複数のチェックをした場合、複数枚を作成すること。

■対象施設
 対象施設 共通 道路 橋梁 河川 砂防 公園・緑地・視点場 建蔽

■事業段階
 事業段階 構想段階 設計段階

■配慮事項
 配慮事項 <チェックシートの配慮事項を記入する>

■配慮内容
 配慮内容 <各段階で配慮した配慮内容を記入する（報告書や委員会議事録、設計図の写し等の添付でも可能）>
 【構想】
 【設計】

■配慮結果
 配慮結果 配慮することができた 配慮できなかった ⇒ 下欄に理由を記入
 【理由】

